

Ⅲ 各科目の分析と考察

1 国語

(1) 領域別及び評価の観点別の平均通過率

【国語A問題】

(%)

領域	言語事項	読むこと					書くこと	
		文学的文章	説明的文章	古文	漢文	グラフ		
評価の観点	知識・理解	読む能力					書く能力	関心・意欲・態度
平成21年度	78.1	74.8	59.8	65.1	59.5	69.9	64.3	86.1
平成20年度	81.5	88.2	70.6	73.6	57.4	76.1	57.3	85.4

【国語B問題】

(%)

領域	言語事項	読むこと					書くこと	
		文学的文章	説明的文章	古文	漢文	グラフ		
評価の観点	知識・理解	読む能力					書く能力	関心・意欲・態度
平成21年度	81.0	79.3	67.3	51.7	42.5	74.4	67.3	87.2
平成20年度	83.2	82.9	72.4	75.6	66.4	74.9	58.0	85.5

(2) 設問ごとの通過率等一覧

①国語A問題

(%)

大問	小問	学習指導要領 の内容項目等	出題のねらい	評価の観点	通過率		誤答率	無答率
					正答率	準正答率		
1	一	① 中 言語事項	「拡張」を読むことができる。	知識・理解	95.3	95.3	3.7	1.0
		② 中 言語事項	「折る」を読むことができる。		99.2	99.2	0.4	0.4
		③ 中 言語事項	「便乗」を読むことができる。		83.7	83.7	14.6	1.7
		④ 中 言語事項	「専ら」を読むことができる。		56.5	56.5	33.0	10.5
	二	① 中 言語事項	「利益」を書くことができる。		89.7	89.7	6.6	3.7
		② 中 言語事項	「保つ」を書くことができる。		95.4	95.4	1.1	3.5
		③ 中 言語事項	「予測」を書くことができる。		77.7	77.7	16.4	5.9
		④ 中 言語事項	「悩み」を書くことができる。		81.3	81.3	7.6	11.1
	三	国語総合 言語事項	副詞「おそらく」の呼応について理解している。		87.9	87.9	11.6	0.5
	四	国語総合 言語事項	相手に応じた敬語の用い方について理解している。		36.0	36.0	63.5	0.5
	五	中 言語事項	「単刀直入」という慣用句について理解している。		96.8	96.8	2.8	0.4
	六	中 言語事項	「あがる」という語が表す多くの意味について理解している。		94.4	94.4	5.1	0.5
2	一	中 読むこと	文章中の空欄にあてはまる適切な表現を答えることができる。	読む能力	18.3	18.3	76.5	5.2
	二	国語総合 読むこと	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。		88.7	88.7	10.0	1.3
	三	国語総合 読むこと	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。		87.2	87.2	11.4	1.4
	四	中 読むこと	文章に描かれた人物の心情を正確にとらえることができる。		93.0	93.0	5.5	1.5
	五	中 読むこと	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。		86.8	86.8	11.5	1.7
3	一	中 読むこと	文章中の空欄にあてはまる適切な接続詞を答えることができる。	読む能力	94.3	94.3	4.3	1.4
	二	国語総合 読むこと	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。		40.9	40.9	57.4	1.7
	三	中 読むこと	文章中の空欄にあてはまる適切な語の組合せを答えることができる。		45.8	45.8	52.6	1.6
	四	国語総合 言語事項	「是非もない」の意味を理解している。	知識・理解	58.5	58.5	39.7	1.8
	五	中 読むこと	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。	読む能力	58.2	58.2	39.6	2.2
4	一	国語総合 言語事項	形容詞「なし」の活用について理解している。	知識・理解	44.5	44.5	53.8	1.7
	二	中 読むこと	文章中の空欄にあてはまる語を答えることができる。	読む能力	65.2	65.2	33.2	1.6
	三	中 言語事項	歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いについて理解している。	知識・理解	89.3	89.3	7.7	3.0
	四	国語総合 読むこと	文章全体の内容を正確にとらえることができる。	読む能力	64.9	64.9	33.4	1.7
5	一	中 読むこと	文章中の会話文について正確にとらえることができる。	読む能力	70.7	70.7	27.0	2.3
	二	中 読むこと	文章に描かれた人物の心情を正確にとらえることができる。		48.1	48.1	49.5	2.4
	三	国語総合 言語事項	返り点の付け方を理解している。	知識・理解	62.4	62.4	29.1	8.5
	四	国語総合 読むこと	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。	読む能力	59.7	59.7	37.8	2.5
6	一	中 読むこと	グラフから読み取ったことを、一文でまとめることができる。	読む能力	69.9	55.8	25.2	4.9
	二	分量	自分の考えを指定された字数でまとめようとしている。	書く能力	86.1	86.1	3.8	10.1
		構成	二段落構成で文章をまとめることができる。		75.3	75.3	14.6	10.1
		叙述	グラフから読み取った情報を用いて、自分の考えをまとめることができる。		52.7	52.7	37.2	10.1
		語句の選択と使用	正しい語句を選択し、文章にまとめることができる。		64.8	64.8	25.1	10.1

②国語B問題

(%)

大問	小問	学習指導要領 の内容項目等	出題のねらい	評価の観点	通過率	正答率		誤答率	無答率
						正答率	準正答率		
1	一	① 中 言語事項	「引率」を読むことができる。	知識・理解	89.4	89.4		9.0	1.6
		② 中 言語事項	「外」を読むことができる。		92.7	92.7		6.2	1.1
		③ 中 言語事項	「伴奏」を読むことができる。		95.0	95.0		4.3	0.7
		④ 中 言語事項	「勧める」を読むことができる。		92.8	92.8		6.6	0.6
	二	① 中 言語事項	「半減」を書くことができる。		91.0	91.0		5.3	3.7
		② 中 言語事項	「補う」を書くことができる。		74.6	74.6		14.6	10.8
		③ 中 言語事項	「専門」を書くことができる。		81.1	81.1		17.8	1.1
		④ 中 言語事項	「鼻」を書くことができる。		93.1	93.1		6.0	0.9
	三	国語総合 言語事項	副詞「おそらく」の呼応について理解している。		91.7	91.7		7.9	0.4
	四	国語総合 言語事項	相手に応じた敬語の用い方について理解している。		38.8	38.8		60.8	0.4
	五	国語総合 言語事項	「敷居が高い」という慣用句について理解している。		65.3	65.3		34.1	0.6
	六	中 言語事項	「山」という語が表す多くの意味について理解している。		88.7	88.7		10.8	0.5
2	一	国語総合 言語事項	「案の定」の意味を理解している。	知識・理解	92.3	92.3		7.0	0.7
	二	国語総合 読むこと	文章中の空欄にあてはまる適切な語を答えることができる。	読む能力	77.1	77.1		22.0	0.9
	三	国語総合 読むこと	文章に描かれた人物の心情を正確にとらえることができる。		74.2	74.2		24.9	0.9
	四	国語総合 読むこと	文章中の空欄にあてはまる適切な表現を答えることができる。		89.6	89.6		9.4	1.0
	五	国語総合 読むこと	文章に描かれた人物の心情を正確にとらえることができる。		76.4	76.4		22.6	1.0
3	一	国語総合 読むこと	文章中の空欄にあてはまる適切な語を答えることができる。	読む能力	45.6	45.6		53.3	1.1
	二	国語総合 読むこと	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。		68.4	68.4		22.6	9.0
	三	中 読むこと	文章中の空欄にあてはまる適切な接続詞を答えることができる。		83.6	83.6		15.1	1.3
	四	国語総合 読むこと	文章中の空欄にあてはまる適切な表現を答えることができる。		79.0	79.0		19.7	1.3
	五	国語総合 読むこと	文章全体の内容を正確にとらえることができる。		59.8	59.8		38.8	1.4
4	一	国語総合 言語事項	形容詞「めでたし」の活用について理解している。	知識・理解	53.1	53.1		45.2	1.7
	二	国語総合 読むこと	文章中の表現について、その主語を答えることができる。	読む能力	64.6	64.6		33.8	1.6
	三	国語総合 読むこと	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。		48.5	48.5		49.8	1.7
	四	国語総合 読むこと	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。		41.8	41.8		56.4	1.8
5	一	国語総合 言語事項	返り点の付け方を理解している。	知識・理解	76.0	76.0		19.6	4.4
	二	国語総合 読むこと	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。	読む能力	32.5	32.5		65.4	2.1
	三	国語総合 読むこと	文章中の表現について、その主語を答えることができる。		62.8	62.8		35.1	2.1
	四	国語総合 読むこと	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。		32.2	32.2		65.5	2.3
6	一	中 読むこと	グラフから読み取ったことを、一文でまとめることができる。	読む能力	74.4	61.0	13.3	20.9	4.7
	二	分量 中 書くこと	自分の考えを指定された字数でまとめようとしている。	書く能力	87.2	87.2		3.7	9.1
		構成 中 書くこと	二段落構成で文章をまとめることができる。		75.6	75.6		15.3	9.1
		叙述 国語総合 書くこと	グラフから読み取った情報を用いて、自分の考えをまとめることができる。		56.8	56.8		34.1	9.1
		語句の選択と使用 国語総合 書くこと	正しい語句を選択し、文章にまとめることができる。		69.6	69.6		21.3	9.1

(3) 各設問の考察

①国語〔A問題〕

大問	小問	正答例 (通過率)	主な誤答	考察
1	一	① かくちょう (95.3%)	こうちょう	〔誤答分析等〕 全体的には正しく読めているが、日常、使用する機会の少ない漢字（専）について正確に読み分けることが不十分。 〔他の調査との比較〕 過去のA問題との比較では変化はほとんどない。 ① H20 共通学力テストA問題〔同一〕(94.7%) ② H20 全国学力調査〔同一〕(97.3%) ③ H19 共通学力テストB問題〔同一〕(89.4%) H16 共通学力テストB問題〔同一〕(87.9%)
		② いの(る) (99.2%)	ね(る)	
		③ びんじょう (83.7%)	べんじょう	
		④ もつぱ(ら) (56.5%)	みずか(ら)	
	二	① 利益 (89.7%)	「益」のソ の部分がつ	〔誤答分析等〕 全体的には正しく書けているが、「測」を「側」としたり、「悩」を「脳」とするなど、漢字を誤って覚えている。 〔他の調査との比較〕 過去のA問題との比較では変化はほとんどない。 ① H20 共通学力テストA問題〔同一〕(90.1%) ② H20 全国学力調査〔同一〕(84.0%) ③ H20 全国学力調査〔同一〕(64.0%)
		② 保 (95.4%)	持	
		③ 予測 (77.7%)	予側	
		④ 悩 (81.3%)	脳	
	三	④ (87.9%)	①	〔誤答分析等〕 「おそらく」に対して「だろう」という主体の判断が呼応する関係を正しくとらえることが不十分。

大問	小問	正答例 (通過率)	主な誤答	考察
1	四	③ (36.0%)	①	〔誤答分析等〕 「ウチ」と「ソト」の関係が十分理解できていないために、客に対しての対応の場面において、身内である社長の行為に敬語を用いている。 〔他の調査との比較〕 H19 共通学力テストB問題 〔同一〕 (46.6%) H18 共通学力テストB問題 〔同一〕 (46.1%)
	五	② (96.8%)	④	〔誤答分析等〕 四字熟語についての理解は定着している。 〔他の調査との比較〕 過去のA問題との比較では変化はない。 H20 共通学力テストA問題 〔同一〕 (96.8%) H20 共通学力テストB問題 〔同一〕 (97.8%)
	六	② (94.4%)	③	〔誤答分析等〕 「あがる」という語が表す多くの意味についての理解は定着している。 〔他の調査との比較〕 過去のA問題と比較してやや減少している。 H18 共通学力テストA問題 〔同一〕 (94.7%) H18 共通学力テストB問題 〔同一〕 (95.9%)
2	一	そっと (18.3%)	身をかがめて	〔誤答分析等〕 「近づく」という語に着目しているが、情景を正しくとらえることが不十分。また、語を抜き出して書きなさいという問題文の指示に従うことができていない。
	二	① (88.7%)	④	〔誤答分析等〕 傍線部直後の「忘れていた」も含めて考えているため、「聞こえない」を含む誤った選択肢を選んでいる。指示内容を正しくとらえることが不十分。
	三	④ (87.2%)	①	〔誤答分析等〕 傍線部が人物の心情を反映していることについての理解が不十分であり、「ヤス」が実際に重くなったという誤った選択肢を選んでいる。
	四	④ (93.0%)	②	〔誤答分析等〕 空欄の直前の「がっかりした」に着目し、誤った選択肢を選んでいる。文脈から内容をとらえることが不十分。
	五	③ (86.8%)	①	〔誤答分析等〕 本文には「自分の仲間たちを守るために」という内容はない。文脈からではなく、感覚的に内容をとらえ、誤った選択肢を選んでいる。

大問	小問	正答例 (通過率)	主な誤答	考察
3	一	① (94.3%)	②	[誤答分析等] 空欄の直後の「わからないことが多い」が、空欄の前の部分の言い換えであることを理解できず、誤った選択肢を選んでいる。
	二	④ (40.9%)	②	[誤答分析等] 「文化的変奏」という表現が比喻であることの理解が不十分である。「変」にだけ着目し誤った選択肢を選んでいる。
	三	② (45.8%)	④	[誤答分析等] 「高尚」の意味が理解できていない。前後の関係をとらえ、叙述に即して的確に読み取ることが不十分。
	四	③ (58.5%)	④	[誤答分析等] 語句の意味を、筆者の論の展開に即して把握することができていない。
	五	② (58.2%)	③	[誤答分析等] 本文には「ユーモアを解するべき」という内容はない。筆者の論の展開を踏まえずに、感覚的にとらえ、誤った選択肢を選んでいる。
4	一	③ (44.5%)	②	[誤答分析等] 活用形についての理解が不十分であり、連用形と連体形との区別ができていない。
	二	④ (65.2%)	②	[誤答分析等] 「朝」と「夕」、「南の風」と「北の風」の対比の関係が十分に理解できていない。
	三	いいける (89.3%)	いった	[誤答分析等] 「仮名遣い」の意味が分からず、あるいは設問を十分に読まず、誤って口語訳を答えている。
	四	③ (64.9%)	④	[誤答分析等] 本文には「風に逆らって船を進める」という内容はない。「大臣になった」ことは理解できているが、内容を感覚的にとらえ、誤った選択肢を選んでいる。
5	一	④ (70.7%)	②	[誤答分析等] 問題文では「会話の部分」はどこからかとあるが、「云ふ」を会話の一部ととらえ、誤った選択肢を選んでいる。
	二	③ (48.1%)	①	[誤答分析等] 冒頭の「新衣を簪るを好まず」をふまえず、最後の「大いに笑ひて」だけに着目して、誤った選択肢を選んでいる。
	三	不 経 新 レ レ (62.4%)	不 経 新 レ 二 一	[誤答分析等] 返り点の付け方についての基本的な知識が身に付いていない。
	四	② (59.7%)	③	[誤答分析等] 本文に「笑ひて」とあることから、関連する語「おもしろがり」を含む誤った選択肢を選んでいる。文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることが不十分。

大問	小問	正答例 (通過率)	主な誤答	考察
6	一	男子も女子も、 五割以上の小学 五年生が、一日 に二時間以上テ レビを見ている。 (69.9%)	グラフから 分かること が適切に表 現されてい ない。	〔誤答分析等〕 具体的な数値を用いず、感覚的にとらえた内容や感想など を書いている。
	二 分量	小学生はテレ ビやゲームに三	通過率 (86.1%) 無解答	〔誤答分析等〕 無答率が10.1%。まとまった文章として書く力については 定着している。
	二 構成	時間以上費やさ ないほうがよい という意見に賛 成である。 テレビ視聴時	通過率 (75.3%) 三段落構成 で書いてい る。	〔誤答分析等〕 問題文にある「二段落構成にすること」という注意に従う ことができていない。
	二 叙述	間と体力合計点 の関連を表した グラフを見ると、男子につい ては、テレビを 見る時間が多い ほど体力合計点 が低くなってい ることが分か る。テレビやゲ ームをすること で、運動する時 間が十分取れな いと考えられ る。テレビやゲ ームに長い時間 を使わず、運動 する時間を増や すのがよい。	通過率 (52.7%) グラフから分 かることを用 いて述べられ ているが、論理 的でない。	〔誤答分析等〕 グラフから分かることを根拠にして、自分の論理を組み立 てることが不十分。また、複数の情報の中から必要なもの を選ぶことができていない。
	二 語句 の選 択と 使用		通過率 (64.8%) 語句の選 択が適切で はない。	〔誤答分析等〕 話し言葉と書き言葉の使い分けが不十分。また、語彙力が 不足しており、語句を正しく用いて文章を書く力が不十分。

②国語〔B問題〕

大問	小問	正答例 (通過率)	主な誤答	考察
1	一	① いんそつ (89.4%)	いんりつ	〔誤答分析等〕 全体的には正しく読めているが、複数の読みを持つ漢字(率)について正確に読み分けることが不十分。 〔他の調査との比較〕 過去のB問題と比較してやや増加している。 ② H20 共通学力テストB問題〔同一〕(89.3%) H20 共通学力テストA問題〔同一〕(84.2%) H17 共通学力テストB問題〔同一〕(82.5%) H16 共通学力テストA問題〔同一〕(79.6%) H15 共通学力テストA問題〔同一〕(62.1%) ③ H21 全国学力調査〔同一〕(89.1%) ④ H19 全国学力調査〔同一〕(67.3%)
		② ほか (92.7%)	そと	
		③ ばんそう (95.0%)	はんそう	
		④ すす(める) (92.8%)	つと(める)	
	二	① 半減 (91.0%)	反減	〔誤答分析等〕 全体的には正しく書けているが、「専」に点を打つなど、漢字を誤って覚えている。 〔他の調査との比較〕 過去のB問題と比較してやや増加している。 ① H19 全国学力調査〔同一〕(67.2%) ② H21 全国学力調査〔同一〕(54.6%) ③ H20 共通学力テストA問題〔同一〕(73.0%) H16 共通学力テストB問題〔同一〕(76.3%) H16 共通学力テストA問題〔同一〕(72.5%) ④ H20 共通学力テストB問題〔同一〕(91.1%) H20 共通学力テストA問題〔同一〕(90.5%) H19 共通学力テストA問題〔同一〕(89.1%)
		② 補 (74.6%)	衣が示	
		③ 専門 (81.1%)	専に点	
		④ 鼻 (93.1%)	自が白	
	三	④ (91.7%)	①	〔誤答分析等〕 「おそらく」に対して「だろう」という主体の判断が呼応する関係を正しくとらえることが不十分。

大問	小問	正答例 (通過率)	主な誤答	考察
1	四	③ (38.8%)	①	〔誤答分析等〕 「ウチ」と「ソト」の関係が十分理解できていないために、客との対応の場面において、身内である社長の行為に敬語を用いている。 〔他の調査との比較〕 過去のB問題と比較してやや減少している。 H19 共通学力テストB問題 〔同一〕 (46.6%) H18 共通学力テストB問題 〔同一〕 (46.1%)
	五	① (65.3%)	③	〔誤答分析等〕 慣用句についての理解が不十分。
	六	④ (88.7%)	②	〔誤答分析等〕 「山」という語が表す多くの意味についての理解が不十分。 〔他の調査との比較〕 過去のB問題と比較してやや増加している。 H20 共通学力テストA問題 〔同一〕 (83.9%) H17 共通学力テストB問題 〔同一〕 (86.4%)
2	一	② (92.3%)	③	〔誤答分析等〕 「案の定」という語句の意味が理解できておらず、文脈から類推することもできていない。
	二	① (77.1%)	④	〔誤答分析等〕 空欄直後の一文との関連が読み取れず、直前の「いやだ」「不機嫌になる」だけに着目し、誤った選択肢を選んでいる。
	三	② (74.2%)	①	〔誤答分析等〕 傍線部の直前の会話文を表面的にしか理解できておらず、人物の心情が理解できていない。
	四	④ (89.6%)	③	〔誤答分析等〕 文脈からではなく、空欄の直前の「兄貴と映画館に行くのが好き」だけに着目し、誤った選択肢を選んでいる。
	五	④ (76.4%)	③	〔誤答分析等〕 傍線部の直後の「フードを深くかぶった」だけに着目し、誤った選択肢を選んでいる。人物の心情を正しくとらえることが不十分。

大問	小問	正答例 (通過率)	主な誤答	考察
3	一	④ (45.6%)	③	[誤答分析等] 「観念」「懸念」の意味が十分に理解できていないために、誤った選択肢を選んでいる。
	二	希望や夢を持ち続けることは大切だ (68.4%)	努力は人を裏切らない	[誤答分析等] 空欄を含む段落の内容だけから解答し、キーワードである「希望」や「夢」を用いることができていない。
	三	② (83.6%)	①	[誤答分析等] 空欄の前で「希望の継続派」と「希望の修正派」とが比較されていることが読み取れず、誤った選択肢を選んでいる。
	四	① (79.0%)	②	[誤答分析等] 空欄の直前の「才能や運」だけに着目し、誤った選択肢を選んでいる。論の展開が十分に理解できていない。
	五	③ (59.8%)	②	[誤答分析等] 本文には「才能が伸ばされる」という記述はない。文章全体の内容を理解した上での選択肢の吟味ができていない。
4	一	④ (53.1%)	③	[誤答分析等] 形容詞の活用形についての理解が不十分であり、連体形・已然形の区別ができていない。
	二	③ (64.6%)	①	[誤答分析等] 傍線部の直前の会話が二つとも「女房ども」の発言であることが読み取れていない。
	三	④ (48.5%)	②	[誤答分析等] 「あづまのこと」が掛詞であることに気づかず、和歌の修辞法についての理解が不十分である。
	四	① (41.8%)	②	[誤答分析等] 和歌の内容が十分に理解できておらず、文章の内容を的確に読み取ることができていない。
5	一	欲 売 之 レ レ (76.0%)	欲 売 之 二 レ ー	[誤答分析等] 返り点の付け方についての基本的な知識が身に付いていない。
	二	③ (32.5%)	①	[誤答分析等] 「与」の意味理解できず、誤った選択肢を選んでいる。
	三	② (62.8%)	③	[誤答分析等] 「願」の意味が理解できず、文脈から内容を読み取ることも不十分。
	四	② (32.2%)	①	[誤答分析等] 直前の「還」「去」に着目できず、文脈から内容を読み取ることも不十分。

大問	小問	正答例 (通過率)	主な誤答	考察
6	一	男子も女子も、 五割以上の小学 五年生が、一日 に二時間以上テ レビを見ている。 (74.4%)	グラフから 分かること が書かれて いない。	〔誤答分析等〕 問題文では「グラフ1から、どのようなことが分かりますか」というものであるが、感覚的にとらえた内容や感想を書いている。
	二 分量	小学生はテレ ビやゲームに三	通過率 (87.2%) 無解答	〔誤答分析等〕 無答率が9.1%。まとまった文章として書く力については定着している。
	二 構成	時間以上費やさ ないほうがよい という意見に賛 成である。 テレビ視聴時 間と体力合計点	通過率 (75.6%) 三段落構成 で書いている。	〔誤答分析等〕 問題文にある「二段落構成にすること」という注意に従うことができていない。
	二 叙述	の関連を表した グラフを見る と、男子につい ては、テレビを 見る時間が多い ほど体力合計点 が低くなってい	通過率 (56.8%) 意見が論理 的に述べら れているが、グラフ から分かる ことを用い ていない。	〔誤答分析等〕 グラフから分かることを根拠にして、自分の論理を組み立てることが不十分。また、複数の情報の中から必要なものを選ぶことができず、個人的な体験を根拠に述べている。
	二 語句 の選 択と 使用	ることが分か る。テレビやゲ ームをすること で、運動する時 間が十分取れな いと考えられ る。テレビやゲ ームに長い時間 を使わず、運動 する時間を増や すのがよい。	通過率 (69.6%) 語句の選択 が適切では ない。	〔誤答分析等〕 語彙力が不足しており、語句を正しく用いて文章を書く力が不十分。

(4) 具体的な設問の分析

昨年度の課題1

改善と継続課題

○説明的文章を読むことについて、叙述に即して的確に読み取ることが不十分。

【今年度の出題のねらい】

○文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。

A問題 3 二

A問題 3 二

(外山滋比古「ユーモアのレッスン」による。)

傍線部 a 「ユーモアが文化的変奏ともいうべき性格をもっている」とありますが、これはどういう意味ですか。最も適切なものを、次の ①～④の中から選び、その記号を書きなさい。

- ① ユーモアはその国の文化だけでなく、笑いをも基盤とする性格をもっている。
- ② ユーモアはその国のことばだけでなく、文化をも変える性格をもっている。
- ③ ユーモアはその国の文化だけでなく、政治をも変える性格をもっている。
- ④ ユーモアはその国のことばだけでなく、文化をも基盤とする性格をもっている。

解答状況及び誤答分析

解答類型	①	②	③	④正答	その他	無解答
割合 (%)	18.4	27.6	11.4	40.9	0.1	1.7

文章中の表現について、書き手がどのような意味で用いているかを正確にとらえることができるかどうかをみた。傍線部の「文化的変奏」が何であるかを、叙述に即して読み取る力が求められる。②の選択肢を選んだ割合が 27.6%。「文化的変奏」という表現が比喩であることの理解が不十分であり、筆者の論の展開に即して把握することができず、「変」の字を含む選択肢を誤って選んでいる。

【関連する過去の問題】

平成20年度A問題 3 4

(酒井邦嘉「科学者という仕事」による。)

(c) ～ (e) にあてはまる語の組合せとして最も適切なものを、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

- ア (c) 科学的 (d) 非科学的 (e) 非科学的
- イ (c) 非科学的 (d) 科学的 (e) 非科学的
- ウ (c) 科学的 (d) 非科学的 (e) 科学的
- エ (c) 非科学的 (d) 科学的 (e) 科学的

解答状況及び誤答分析

解答類型	ア	イ	ウ (正答)	エ	その他	無解答
割合 (%)	14.1	13.2	63.7	7.5	0.4	1.2

文章中の表現について、書き手がどのような意味で用いているかを正確にとらえることができるかどうかをみた。三つの空欄に当てはまる語の組合せを問う形式とした。接続詞に着目し、筆者の論の展開をとらえる力が求められる。正答のウを選んだ割合は63.7%。アの選択肢を選んだ割合が14.1%、イの選択肢を選んだ割合が13.2%。語句の定義付けを、筆者の論の展開に即して把握することができていない。

【改善状況と課題】 ○：改善，定着 ●：課題

●昨年度のA問題の通過率63.7%に対し、今年度のA問題の通過率は40.9%であり、22.8ポイント下降した。本文中の表現がどのような意味で用いられているのかを、筆者の論の展開に即して把握することができていない。筆者の論の展開を正しくとらえ、叙述に即して的確に読み取る力をより一層高める必要がある。

【今年度の出題のねらい】

○文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。

B問題 3 二

B問題 3 二

(玄田有史「希望学」による。)

(Ⅱ) にあてはまる適切な表現を、考えて書きなさい。

解答状況及び誤答分析

解答類型	希望や夢を持ち続けることは大切だと同意 (正答)	才能がある人だけが成功すると同意	その他	無解答
割合 (%)	68.4	0.6	22.1	9.0

文章中の空欄にあてはまる適切な表現を正確に記述することができるかどうかをみた。「その他」の解答には「努力は人を裏切らない」「頑張れ」など、様々な解答があった。第1段落、第2段落で用いられている「希望」というキーワードに着目することができず、不十分な内容となっている。

【関連する過去の問題】

平成20年度B問題 3 2

(内田樹「街場の現代思想」による。)

傍線部①「彼女たち」とありますが、これとほぼ同じ意味の表現を、本文中から十字程度で抜き出して書きなさい。

解答状況及び誤答分析

解答類型	当今の「文学少女」 たち (正答)	当今の「文学少女」 (準正答)	最近の若い人	その他	無解答
割合 (%)	28.4	21.0	15.1	24.8	10.7

文章中の表現について、同じ意味の内容を正確に抜き出すことができるかどうかをみた。「上記以外の解答」には「むかしの文学少女」「文学少女たち」など、様々な解答があった。「最近の若い人」という類似、「むかしの文学少女」という対比の表現があり、その中から適切な表現を選ぶことが不十分。「当今」の意味についても理解できていない。

【改善状況と課題】 ○：改善，定着 ●：課題

○昨年度のB問題の通過率49.4%に対し、今年度のB問題の通過率は68.4%であり、19.0ポイント上昇している。文章全体の内容を押さえつつ、論の展開に即して筆者の述べた内容を把握することについて改善がみられる。

【学校における教科の指導と設問の通過率との関連】

指導 国語科では、説明的文章を読むときには、論の展開や、筆者の論理構造を正確にとらえさせる指導を行っている。

		よく・やや あてはまる	あまり・まったく あてはまらない
通過率 (%)	A問題 3 二	41.2	33.4
	B問題 3 二	68.9	47.8

・「あてはまる」と回答した学校の生徒と「あてはまらない」と回答した学校の生徒との通過率の差は、A問題で7.8ポイント、B問題で21.1ポイントである。

指導改善のポイント

○説明的文章を読むことについて、論の展開を確認しながら筆者の考えを読み取らせる指導が必要である。

⇒p 39, 40

○古典における文語文法についての理解が不十分。

【今年度の出題のねらい】

○形容詞の活用について理解している。

A問題4一・B問題4一

A問題4一

今は昔、親に孝ずる者ありけり。朝夕に木をこりて親を養ふ。孝養の心空に知られぬ。梶も a なき 船に乗りて、向ひの嶋に行くに、朝には南の風吹きて、北の嶋に吹きつけつ。夕には、又、舟に木をこり入りてゐたれば、() の風吹きて家に吹きつけつ。

かくのごとくする程に、年比になりて、大やけに聞こし召して、大臣になして召し使はる。その名を鄭大尉とぞ b いひける。(「宇治拾遺物語」による。)

傍線部 a 「なき」の、文中における活用形は何形ですか。次の①～④の中から選び、その記号を書きなさい。

- ① 未然形 ② 連用形 ③ 連体形 ④ 已然形

解答状況及び誤答分析

解答類型	①	②	③ (正答)	④	その他	無答
割合 (%)	12.7	34.2	44.5	6.7	0.2	1.7

「なし」はク活用の形容詞で、「なき」の形となるのは連体形だけである。また、名詞「船」に接続する形であることから正答は連体形となるが、34.2%の生徒が連用形と答えている。連体形と連用形との違いが十分に理解できていない。形容詞の活用についての理解が不十分である。

【関連する過去の問題】

平成20年度A問題四2

醍醐の大僧正実賢、餅をやきてくひけるに、きはめたる眠りの人にて、餅を持ちながら、ふたふたと眠りけるに、まへに江次郎といふ格勤者のありけるが、僧正の眠りてうなづくを、われにこの餅くへと気色あるぞと心得て、走りよりて手に持ちたる餅をとりてくひてけり。僧正 a おどろきてのち、「ここに持ちたりつる餅は」とたづねられければ、江次郎、「その餅は、はやくへと候ひつれば、たべ候ひぬ」とこたへけり。僧正、比興のことなりとて、諸人に語りてわらひけるとぞ。(「古今著聞集」による。)

傍線部 a 「おどろき」の、文中における活用形は何形ですか。次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

- ア 未然形 イ 連用形 ウ 連体形 エ 已然形

解答状況及び誤答分析

解答類型	ア	イ (正答)	ウ	エ	その他	無解答
割合 (%)	6.9	65.4	18.9	7.3	0.3	1.2

助詞の「て」に接続する形であるから正答は連用形となるが、18.9%の生徒が連体形と答えている。また、未然形あるいは已然形と答えた生徒も14.2%いる。動詞の活用についての理解が不十分である。

B問題4

今は昔、式部大輔匡衡、学生にて、いみじき者也。宇治大納言の許に有りけり。才は極めて
a めでたけれど、みめはいとしもなし。丈高く、指肩にて、見苦しかりければ、女房ども、「言
ひまさぐりて、笑はむ。」とて、和琴をさしいだして、「よろづの事知り給ひたなるを、これ弾き
給へ。聞かむ。」と b 言ひければ、詠みて、

逢坂の関のあなたもまだ見ねば c 東の事も知られざりけり
と言ひたりければ、女房ども d え笑はで、やはらづつひき入りにけり。

(「古本説話集」による。)

傍線部 a 「めでたけれ」の、文中における活用形は何形ですか。次の①～④の中から選び、その記号を書きなさい。

- ① 未然形 ② 連用形 ③ 連体形 ④ 已然形

解答状況及び誤答分析

解答類型	①	②	③	④ (正答)	その他	無解答
割合 (%)	6.9	17.8	20.4	53.1	0.1	1.7

「めでたし」はク活用の形容詞で、「めでたけれ」の形となるのは已然形だけである。また、助詞「ど」に接続する形であることから正答は已然形となるが、20.4%の生徒が連用形と答えている。

【関連する過去の問題】

平成20年度B問題四1

母年老いてつねに病みいたはり、食の味はひも度毎に変はりければ、よしなき物を望めり。冬のことなるに、竹の子をほしく a 思へり。則ち孟宗竹林に行きもとむれ共、雪深き折なれば、などかたやすく得べき。ひとへに天道の、御あはれみを頼み奉るとて、祈りをかけて大きに悲しみ、竹に寄り添ひける所に、にはかに大地ひらけて、竹の子あまた生ひ出で侍りける。① 大きに喜び、則ち取りて帰り、あつものにつくり、母に与へ侍りければ、母是を食して其のまま病もいへて、② 齢をのべたり。是ひとへに、③ 孝行の深き心を感じて、天道より与へ給へり。

(「御伽草子」による。)

傍線部 a 「思へ」の、文中における活用形は何形ですか。次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

- ア 未然形 イ 連用形 ウ 連体形 エ 已然形

解答状況及び誤答分析

解答類型	ア	イ	ウ	エ (正答)	その他	無解答
割合 (%)	9.8	30.7	19.0	39.0	0.1	1.3

「思ふ」はハ行四段活用の動詞であり、「思へ」の形となるのは已然形または命令形だけであるが、正答の已然形と答えた割合は39.0%で、30.7%の生徒が連用形と答えている。また、未然形あるいは連体形と答えた生徒も28.8%いる。動詞の活用についての理解が不十分であり、また、助動詞の接続についての理解も不十分である。

【改善状況と課題】 ○：改善，定着 ●：課題

●昨年度のA問題の通過率 65.4%に対し，今年度のA問題の通過率は 44.5%であり，20.9 ポイント下降している。動詞の活用以上に形容詞の活用は定着していない。また，昨年度のB問題の通過率 39.0%に対し，今年度のB問題の通過率は 53.1%であり，14.1 ポイント上昇している。ただ，形容詞の活用が定着しているとまでは言えない。

指導改善のポイント

○文語文法について，読むことの指導に即して繰り返し指導することが必要である。

⇒p 41

昨年度の改善状況1

課題

○古典を読むことについて、叙述に即して的確に読み取ることは改善。

【今年度の出題のねらい】

○文章の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。

B問題4三・5二

B問題4三

今は昔、式部大輔匡衡、学生にて、いみじき者也。宇治大納言の許に有りけり。才は極めて
a めでたけれど、みめはいとしもなし。丈高く、指肩にて、見苦しかりければ、女房ども、「言
ひまさぐりて、笑はむ。」とて、和琴をさしだして、「よろづの事知り給ひたなるを、これ弾き
給へ。聞かむ。」と b 言ひければ、詠みて、

逢坂の関のあなたもまだ見ねば c 東の事も知られざりけり
と言ひたりければ、女房ども d え笑はで、やはらづつひき入りにけり。

(「古本説話集」による。)

傍線部c「東の事も知られざりけり」とありますが、この部分の口語訳はどのようになりますか。
最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その記号を書きなさい。

- ① 和琴の弾き方は誰にも分かりません。
- ② 東国のことは誰にも分かりません。
- ③ 和琴の弾き方は私以外は分かりません。
- ④ 東国のことも和琴のことも分かりません。

解答状況及び誤答分析

解答類型	①	②	③	④ (正答)	その他	無解答
割合 (%)	9.7	32.0	8.1	48.5	0.0	1.7

「東の琴」は「東国のこと」と「和琴」の掛詞となっているが、このことに着目できずに②を選んだ割合が32.0%ある。「女房ども」が「和琴をさしだし」たことに対して詠んだ歌であることに着目していない。文章の内容を叙述に即して正確にとらえることが不十分である。

【関連する過去の問題】

平成20年度B問題四3

母年老いてつねに病みいたはり、食の味はひも度毎に変はりければ、よしなき物を望めり。冬のことなるに、竹の子をほしく a 思へり。則ち孟宗竹林に行きもとむれ共、雪深き折なれば、などかたやすく得べき。ひとへに天道の、御あはれみを頼み奉るとて、祈りをかけて大に悲しみ、竹に寄り添ひける所に、にはかに大地ひらけて、竹の子あまた生ひ出で侍りける。①大に喜び、則ち取りて帰り、あつものにつくり、母に与へ侍りければ、母是を食して其のまま病もいへて、②齡をのべたり。是ひとへに、③孝行の深き心を感じて、天道より与へ給へり。

(「御伽草子」による。)

傍線部②「齡をのべたり」とありますが、この部分はどのように口語訳すればよいですか。最も適切なものを、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 若返った イ おれを述べた ウ 長生きをした エ 痛みがなくなった

解答状況及び誤答分析

解答類型	ア	イ	ウ (正答)	エ	その他	無解答
割合 (%)	6.6	10.7	76.0	5.5	0.0	1.3

傍線部に「のべたり」とあることから、「述べた」を含む選択肢を誤って選んでいる。「齡」の語の意味を理解していない。

B問題5二

人有売駿馬者。比旦立市。人莫之知。往見伯樂曰、「臣有駿馬、a欲売之、比旦立市。b人莫与言。子還而視之、去而顧之。臣請献一朝之費。」伯樂乃還而視之、去而 c顧之。d一旦而馬価十倍。

(「戦国策」による。)

傍線部b「人莫与言」とありますが、これはどういう意味ですか。最も適切なものを次の①～④の中から選び、その記号を書きなさい。

- ① 名馬を売るのにふさわしいと言える買い手がない。
- ② 自分と一緒に馬を売る宣伝をしてくれる者がいない。
- ③ 馬を買う値段の交渉などの話をしてくる者がいない。
- ④ 退屈を紛らすための世間話などをする相手がない。

解答状況及び誤答分析

解答類型	①	②	③ (正答)	④	その他	無解答
割合 (%)	35.6	23.0	32.5	6.7	0.1	2.1

傍線部の「与」に着目すると②～④のいずれかが正答と分かるが、「名馬を売るのにふさわしいと言える買い手がない。」という選択肢①を選んだ割合が35.6%となっている。文章の内容を叙述に即して的確にとらえることが不十分である。

【関連する過去の問題】

平成20年度B問題^四2

客有遺相魚者上。相不受。客曰、^①聞君嗜魚、遺君魚。^②何故不受也。相曰、以嗜魚故不受也。今為相、能自給魚。今受魚而免、誰復（ a ）我魚者。吾故不受也。（「史記」による。）

傍線部②「何故不受也」とありますが、この部分はどのように口語訳すればよいですか。最も適切なものを、次のア～エ中から選び、その記号を書きなさい。

- ア なぜ受け取らないのですか。 イ なんのために受け取るのですか。
ウ どうすれば受け取ってもらえますか。 エ なにを受け取ってもらえますか。

解答状況及び誤答分析

解答類型	ア（正答）	イ	ウ	エ	その他	無解答
割合（％）	85.2	5.4	6.1	1.7	0.1	1.6

ア以外を答えた生徒については「故」「不」の字の意味に着目していない。疑問の用法についての理解が不十分であり、また、「故」「不」の字の意味に着目できず、感覚的に、誤った選択肢を選んでいる。

【改善状況と課題】 ○：改善，定着 ●：課題

- 古文については、昨年度のB問題の通過率76.0％に対し、今年度のB問題の通過率は48.5％であり、27.5ポイント下降している。文語文法などの知識をもとに、文章の内容を叙述に即して正確にとらえることが不十分である。
- 漢文については、昨年度のB問題の通過率85.2％に対し、今年度のB問題の通過率は32.5％であり、52.7ポイント下降している。句法の知識をもとに、文章の内容を叙述に即して正確にとらえることが不十分である。

【学校における教科の指導と設問の通過率との関連】

指導 国語科では、古文及び漢文を読むときには、前後関係や指示する内容などを考えさせる指導を行っている。

		よく・やや あてはまる	あまり・まったく あてはまらない
通過率（％）	B問題 ^四 三	49.5	35.5
	B問題 ^五 二	32.9	26.4

・やや相関がある。

・「あてはまる」と回答した学校の生徒と「あてはまらない」と回答した学校の生徒との通過率の差は、A問題では14.0ポイント、B問題では6.5ポイントである。

指導改善のポイント

○古典を読むことについて、文語文法や句法についての知識をもとに、前後の関係をとらえながら読み取らせる指導が必要である。

⇒p42, 43

○与えられた条件を踏まえて自分の考えを書くことは改善。

【今年度の出題のねらい】

○自分の考えを指定された字数でまとめようとしている。(分量)

○二段落構成で文章をまとめることができる。(構成)

○グラフから読み取った情報を用いて、自分の考えをまとめることができる。(叙述)

A問題6二・B問題6二

A問題6二・B問題6二

(グラフ)

「小学生はテレビやゲームに三時間以上費やさないほうがよい」という意見に対して、あなたはどのような考えを持ちますか。あなたの考えを、グラフから分かることを用いて、一二〇字以上二〇〇字以内で書きなさい。ただし、二段落構成とすること。

解答状況及び誤答分析

分量

転記 番号	正答○ 誤答× 無解答—	解答類型	反応率 (%)	
			A問題	B問題
1	○	120 字以上 200 字以内のもの	86.1	87.2
2	×	100 字以上 120 字未満のもの	1.2	1.3
3	×	100 字未満のもの	2.2	2.0
4	×	上記以外の解答	0.5	0.4
0	—	無解答	10.1	9.1

・120 字以上 200 字以内でまとめた割合は、A問題で86.1%、B問題で87.2%である。

叙述

転記 番号	正答○ 誤答× 無解答—	解答類型	反応率 (%)	
			A問題	B問題
1	○	グラフから分かることを用いて、意見が論理的に述べられているもの	52.7	56.8
2	×	グラフから分かることを用いて述べられているが、論理的でないもの	12.0	10.8
3	×	意見が論理的に述べられているが、グラフから分かることを用いていないもの	16.9	16.6
4	×	意見が述べられていないもの	1.6	1.4
9	×	上記以外の解答	6.7	5.3
0	—	無解答	10.1	9.1

・グラフから分かることを用いている割合(転記番号1+2)は、A問題で64.7%、B問題で67.6%である。

【関連する過去の問題】

平成20年度A問題^六3・B問題^六3

(グラフ)

「小学生は夜食を食べないほうがよい」という意見に対して、あなたはどのような考えを持ちますか。あなたの考えを、アンケートの結果を用いて、理由も含めて一二〇字以上二〇〇字以内で書きなさい。ただし、あとの【注意】にしたがって書きなさい。

【注意】

- ・三段落構成にすること。
- ・一段落目に結論を書くこと。

・アンケートの結果を用いている割合は、A問題で24.6%、B問題で24.2%であった。120字以上200字以内でまとめた割合は、A問題で85.4%、B問題で85.5%であった。

条件を踏まえることについて

分量、与えられたデータを用いることのそれぞれについて、平成20年度と平成21年度の反応率をまとめると次のようになる。

条 件	20A問題	21A問題	20B問題	21B問題	20A問題	21B問題
分 量	85.4%	86.1%	85.5%	87.2%	85.4%	87.2%
与えられたデータを用いる	24.6%	64.7%	24.2%	67.6%	24.6%	67.6%

【改善状況と課題】 ○：改善，定着 ●：課題

○分量、与えられたデータ用いることについては、平成20年度に比べて平成21年度はいずれも高くなっている。条件を踏まえることにおいては、A問題、B問題とも定着している。

無答率について

自分の考えを書くことについての問題において、無答率の推移をまとめると次のようになる。

	A問題		B問題	
	与えた資料	無答率	与えた資料	無答率
平成18年度	調査結果のグラフ	12.4	二種類の文章	14.7
平成19年度	調査結果のグラフ	12.5	A問題と同一	11.7
平成20年度	調査結果のグラフ	9.8	A問題と同一	10.2
平成21年度	調査結果のグラフ	10.1	A問題と同一	9.1

【改善状況と課題】 ○：改善 ●：課題

○無答率は、B問題では過去4年間で最も低い9.1%となった。A問題では平成20年度と同様、10%程度であった。

【学校における教科の指導と設問の通過率との関連】

指導 国語科では、書く活動において、課題に応じて字数制限や枚数制限を設けて書かせる指導を行っている。

		よく・やや あてはまる	あまり・まったく あてはまらない
通過率 (%)	A問題⑥二分量	87.7	69.4
	B問題⑥二分量	88.3	80.2

- ・ A問題：やや相関がある。
- ・ 「あてはまる」と回答した学校の生徒と「あてはまらない」と回答した学校の生徒との通過率の差は、A問題で18.3ポイント、B問題で8.1ポイントである。

指導 国語科では、文章以外の様々な資料を用いて、資料の内容を踏まえて論理的に書かせる指導を行っている。

		よく・やや あてはまる	あまり・まったく あてはまらない
通過率 (%)	A問題⑥二叙述	60.4	44.1
	B問題⑥二叙述	59.7	52.8

- ・ A問題：やや相関がある。
- ・ 「あてはまる」と回答した学校の生徒と「あてはまらない」と回答した学校の生徒との通過率の差は、A問題で16.3ポイント、B問題で6.9ポイントである。

(5) 課題の改善に効果的な指導方法

ア 「説明的文章を読むこと」の具体的な事例1

接続詞に着目させ、文と文とのつながりを理解させる指導

(県立賀茂高等学校定時制課程)

説明的文章を読むことについて、叙述に即して的確に読み取ることが不十分という状況に改善が見られた。

B問題において、「説明的文章を読むこと」の通過率が、県全体の変化に比べ17.9ポイント高い。

ワークシート

急いで会社に向かった。

英語の宿題が出た。

必死にやって

ころんで

おもな「順接」の接続詞

「前の文の内容」が原

☆「接続詞」は、文と文をつなぐうかを考えよう。

接続詞1

ポイント②
接続詞を使って短文を書かせることで、定着を計っている。

ポイント①
接続詞をグループ分けした上で、その働きを確認させている。

☆練習問題4
アニメ「ドラえもん」
注意点 二段落構
「はじめに
なぜな

3 激しい風が吹いてい
しかも、

4 このあたりは、冬は
つまり、

指導改善のポイント

- 説明的文章を読むことにおいて、接続詞の働きを十分に理解させることにより、論の展開を正確にとらえさせるようにする。

イ 「説明的文章を読むこと」の具体的な事例2

新聞のコラムを活用することにより、論の展開をとらえさせる指導

(県立広島商業高等学校)

説明的文章を読むことについて、叙述に即して的確に読み取ることが不十分という状況に改善が見られた。

B問題において、「説明的文章を読むこと」の通過率が、県全体の変化に比べ2.9ポイント高い。

資料

ポイント①

最新の新聞記事を用いて教材を作成している。

Bに入る通語を本文中から探さない。
県の知人から細長い宅急便が届いた。「生もの」「割
意書さが2枚はつてある。自然薯だった。大人の腕
事な姿は、なるほど、どこも欠けてはならない彫刻
れものとは、思い込みを裏切る異質の取り合わせ
ものでは、あとはメロンぐらいだろうか
つくりのロボットにも感じる。人肌
と硬、温と冷が同居している。
フルーブが、初売りの話題づくりに入型
2体限りの特製で、価格は西暦にちな
れでも全国で数十件の応募があったそうだ
抽選のうえ、購入者と同じ顔、体、声を持つロボッ
会社のコロロ(東京)が半年をかけて作る。あらかじ
言葉を、それなりの表情や身ぶりでしゃべるといふ。
出すなら、別の容姿にしたい気がするが、自分がもう
界も面白い。
ロボットの好感度は、外見や動作が人間に近づくほ
ころが、ある時点で強烈な不快感に転じ、人と見分け
水準で好感に戻るという。中途半端に入つばい段階を
谷」と呼ぶそうだ。『ロボットのいるくら』(ロボレ
員会編)に教わった。
人と機械という異質をすり合わせ、「谷」を越えようとする人
型ロボ。重さ100キロというから、輸送時は(A)と
いうより大型機械の扱いだろう。包装の片隅にでも小さく
(B)とはってやりたい。
天声人語 1月6日
空欄A・Bに入る通語を本文中から探さない。

ポイント②

キーワードについては空欄にし
て、考えさせる工夫をしている。

指導改善のポイント

- 説明的文章を読むことにおいて、新聞を用いてオリジナルの教材を作成することにより、論の展開をとらえさせるようにする。

ウ 「古典文法を理解すること」の具体的な事例

古典文法の基本事項について、演習プリントを用いて繰り返し確認させる指導。

(県立福山誠之館高等学校全日制課程)

古典における文語文法の理解が不十分という状況に改善が見られた。

B問題において、「古文を読むこと」の通過率が、県全体の変化に比べ7.7ポイント高い。

演習プリント

7	6	5	4	3	2	1	
							基本形
							語幹
							未然形
							連用形

〇 傍線部の動詞について、活用表を完成させ、
《動詞活用表》

ポイント

動詞・形容詞・形容動詞・助動詞について傍線や囲みを使い分け、それぞれについて演習問題を用意している。

【第一段落】

昔、備中国に郡司ありけり。それが子に、ひきのまき人といふ
 ③とて、夢解きの女のもとに行きて、夢合はせて後、物語してゐ
 ⑥なりけり。年は十七、八ばかりの男にておはしけり。心ばへは
 ③きの女のもと。」と問へば、御供の侍、「これにて候ふ。」と言ひ
 りのぞきて見れば、この君入り給ひて、「夢をしかじか見つるなり
 必ず大臣まで成り上がり給ふべきなり。返す返すめでたく御覽に
 この君うれしげにて、衣を脱ぎて女に取らせて帰りぬ。」

指導改善のポイント

〇 古典の学習において、読むことの指導に即して文語文法の指導を繰り返す行う。

エ 「古典を読むこと」の具体的な事例1

主語を一つ一つ確認させながら、前後の関係をとらえ、叙述に即して的確に読み取らせる指導。

(県立宮島工業高等学校全日制課程)

古文を読むことについて、叙述に即して的確に読み取ることが不十分という状況に改善が見られた。

B問題において、「古文を読むこと」の通過率が、県全体の変化に比べ15.1ポイント高い。

ノート

妻 「我らは商うて過ぐれば事も欠けず。この
主いかばかり嘆き求むらん。いとほしきこ
夫 り。主を尋ねて返し給へ。」と言
れば「まことに。」とて、あまねく触
るに、主といふ者出 主 これを得
まりにうれしくて、「三つをば奉らん。
言ひて、既に かつべかりけるととき、
返して、 ために
主

ポイント①

人物を表す語については、マークを付けさせるよう指示している。

ポイント②

主語を一つ一つ丁寧に確認させながら読むようにさせている。

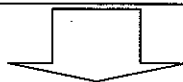
指導改善のポイント

- 古文を読むことにおいて、人物を表す語に留意し、主語を一つ一つ確認させることにより、内容を的確に読み取らせるようにする。

オ 「古典を読むこと」の具体的な事例2

二つの文章を読み比べさせながら、叙述に即して的確に読み取らせる指導。

(県立因島高等学校全日制課程)



漢文を読むことについて、叙述に即して的確に読み取ることが不十分という状況に改善が見られた。

B問題において、「漢文を読むこと」の通過率が、県全体の変化に比べ2.4ポイント高い。

学習指導案			
・人物の発言の内容や態度から心情を読み取る。 ・それぞれの人物像を考える。 ・この場面の記述を他の文章と比較してみる。(司馬遼太郎『項羽と劉邦』を読む。) ・文章を読んだ感想を書く。	根拠となる表現をあげさせる。	ポイント① 本文の中から根拠となる表現を探させている。	
	漢和辞典も適宜活用するようにさせる。	人物の心情を把握し、人物像を考察でき	発表・観察
	ポイント② 同じ場面を取り上げた現代文の文章を読ませている。		
	自分の心情と比較するようにさせる。		ノート

指導改善のポイント

- 漢文を読むことにおいて、同じ内容を扱った複数の文章を読み比べることにより、内容をより深く読み取らせるようにする。